

指導の形態	自立活動「構音の指導」 ～「カ」行の発音指導のポイント～	障がい種	言語障がい
-------	---------------------------------	------	-------

### 授業の概要やよさ

- ・構音点法、舌押さえ法、絵カード、音読などの指導方法をいくつか準備し、それぞれ短時間ずつ扱い、飽きないで学べるようにした。
- ・S Tの言語訓練や、webサイト国立特別支援教育総合研究所の資料を参考にし、本児の実態に合う教材を使用した。

### 児童生徒の様子

- 小学校3年男子A
- ・年度当初は、「カ」「タ」「サ」行全般にわたって構音障がいが見られる。  
(さかな→さたな、ほうき→ほうち、テレビ→エレビなど)
- ・「タ」「サ」行については半年ほどで改善できたが、「カ」行についてはなかなか改善できない。

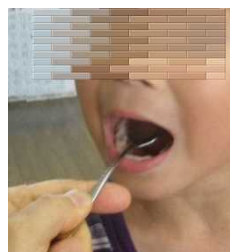


### 目 標

- 「カ」行の構音障がいの矯正
- ・「カ」と「サ」、「キ」と「チ」など、同列の置換による発音の誤りを改善する。
- ・発音器官の運動機能や聴覚弁別力を高めるとともに、正しい構音方法が分かる。

### 支援のポイント

- 全体的な工夫
- ・「カ」行の口形を教室に常掲するとともに、鏡で自分の口形を見ながら行う。
- ・構音点に舌がうまく付かない時は、スプーンを使った舌押さえ法を取り入れる。



### ○学習活動の工夫

1. うがいをしよう  
顔を上に向けて、奥舌でしっかり水を止めてガラガラうがいをする。
2. どの音かな  
よく聞いて、先生がどの発音をしたのか文字カードを選び取る。  
※誤ったカードを選んだ場合は正しい発音を復唱させる。うまくいかないときは、スプーンで前舌を押して奥舌を持ち上げ正しい発音を誘導する。
3. 写真と同じようにやってみよう  
「か」行の口形の写真と、鏡の自分を見比べながら、舌の位置に気をつけて発音する。  
※発音しやすい、か→こ→く→け→きの順番に指導する。
4. 絵カードを読もう  
※発音しやすい順番、語頭→語尾→語中の順に扱う。( からす、すいか、みかん等)
5. 文を読んでみよう